

2025年第2回福島競馬特別レース名解説

<第1日>

○松島特別

松島（まつしま）は、宮城県中部、松島湾一帯の景勝地。日本三景のひとつ。海食により奇観を呈する大小260余りの島があり、クロマツ、アカマツなどが茂る。大高森・富山・扇谷・多聞山からの眺望が優れ、松島四大觀と称される。

○いわき特別

いわきは、福島県南東部の市。1966年に平・勿来・常磐・内郷・磐城の5市と4町5村が合併して誕生した。工業都市として知られる一方で、「アクアマリンふくしま」や「いわき湯本温泉」などの観光資源に富み、観光地としても有名。

なお、同市には「馬の温泉」として知られているJRAの競走馬リハビリテーションセンターがある。

○バーデンバーデンカップ

本競走は、バーデンバーデン競馬場との間で実施される交換競走。同競馬場では、国際的なレースである『バーデン大賞』が実施されている。

バーデンバーデン（Baden-Baden）は、ドイツ南西部、バーデン・ヴュルテンベルク州の都市。ヨーロッパ屈指の温泉地であることに加え、世界一美しいと称される「カジノバーデン・バーデン」があり、多くの観光客が訪れる。

<第2日>

○郡山特別

郡山（こおりやま）は、福島県中央部の市。東に阿武隈山系、北に安達太良山を望み、市の中心部には阿武隈川が流れている。東北自動車道や磐越自動車道、東北新幹線などの高速交通網が整備されており、東日本の交通拠点として発展している。

○鶴ヶ城ステークス

鶴ヶ城（つるがじょう）は、会津若松城の別称。1384年、葦名直盛が東黒川館（のちに黒川城を経て鶴ヶ城と命名）を築いて以降、伊達・蒲生・上杉・加藤・保科・松平と様々な大名の居城となった。1874年に廃城となつたが、1965年に再建され、内部は郷土博物館として公開されている。

○ラジオNIKKEI賞 (GⅢ)

本競走は、1952年に創設された『中山4歳ステークス』を前身とする重賞競走。1954年以降は日本ダービー終了後に実施（1968年を除く）されている。1979年に実施競馬場が中山から福島に変更された。

ラジオNIKKEIは、日経ラジオ社が運営する短波放送局の愛称。前身となる日本短波放送時から中央競馬実況中継をはじめとする様々な競馬番組を提供している。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第3日>

○伊達特別

伊達（だて）は、福島県北部の市。平安時代に伊達郡が置かれ、鎌倉時代以降伊達氏がこの地域を支配した。市の特産品には、「あんぽ柿」や桃がある。

○横手特別

横手（よこて）は、秋田県南東部、横手盆地の東縁にある市。県内有数の豪雪地帯であり、2月に開催される「横手のかまくら」は雪国秋田を代表する民俗行事として有名。

なお、同市にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ横手がある。

○TUF杯

TUFは、福島県福島市に本社を置くテレビユー福島の略称。1983年開局で、JNN（TBS）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第4日>

○さくらんぼ特別

さくらんぼは、桜の果実の総称。桜桃とも呼ばれる。特にセイヨウミザクラの実を指し、6月頃に紅色、黄色に熟したものを食用とする。生産量日本一を誇る山形県をはじめ、東北地方では盛んに生産されている。

○白河特別

白河（しらかわ）は、福島県南部の市。かつては勿来関（なこそのせき）、鼠ヶ関とともに奥州三関のひとつであった白河関があり、みちのくの玄関口であった。江戸時代には松平氏の城下町として発展し、関東と奥州を結ぶ要衝として栄えた。

○ジュライステークス

ジュライ（July）は、7月を意味する英語。古代ローマの軍人・政治家・文筆家であったジュリアス・シーザー（Julius Caesar）の名が語源。

<第5日>

○信夫山特別

信夫山（しのぶやま）は、福島市中心市街地の北方にある山。福島競馬場の北西に見ることができる。羽黒山・羽山・熊野山の三山からなり、古来より信仰の山として崇められてきた。

○会津ステークス

会津（あいづ）は、福島県西部の会津盆地を中心とした地域。崇神天皇の時代に、北陸道を下る大彦命（おおひこのみこと）と東海道を下る建沼河別命（たけぬなかわわけのみこと）の親子がこの地で出会ったという伝説から「相津」の名が付き、後に「会津」へ変化したと考えられている。

○安達太良ステークス

安達太良（あだたら）は、福島県中部にある活火山。日本百名山のひとつ。磐梯朝日国立公園の南端にあり、山麓には沼尻・中ノ沢・岳など数々の温泉がある。

<第6日>

○織姫賞

織姫（おりひめ）は、こと座のアルファ星・ベガの和名。夏の大三角のひとつ。中国の七夕伝説「牛郎織女」における女主人公の織女を指す。

○天の川ステークス

天の川（あまのがわ）は、晴れた夜空に帯状に見える無数の恒星の集まり。中国の七夕伝説「牛郎織女」では、牽牛と織女が1年に1度だけ天の川を渡り、会うことが許されたとされている。

○サマー2000シリーズ七夕賞（GⅢ）

全5戦で実施されるサマー2000シリーズの第2戦。

本競走は、1965年に創設された重賞競走。1976年から1979年までは『東北記念』の名称で実施されていた。創設当初の距離は芝1800mであったが、1980年に2000mに延伸し、現在に至る。

七夕（たなばた）は、五節句のひとつで7月7日の行事。8月に行われる地域もあり、毎年8月に開催される「仙台七夕まつり」は東北三大祭りの一つである。福島競馬場の馬場内広場には、七夕の夜空をモチーフとしたローズガーデンがある。

○彦星賞

彦星（ひこぼし）は、わし座のアルファ星・アルタイルの和名。夏の大三角のひとつ。中国の七夕伝説「牛郎織女」における男主人公の牽牛を指す。

<第7日>

○開成山特別

開成山（かいせいざん）は、福島県郡山市にある開成山公園のこと。同地は、県内でも有数の桜の名所として知られている。また、野外音楽堂や野球場などもあり、憩いの場として市民に親しまれている。

○米沢特別

米沢（よねざわ）は、山形県の南東部の市。中心市街は上杉氏の城下町として発展した。米沢牛が有名であり、米沢織や人造絹糸の発祥地としても知られている。

○阿武隈ステークス

阿武隈（あぶくま）は、宮城県南部から茨城県北部にかけての太平洋岸地域。また、同地域を流れる阿武隈川は、福島県西白河郡旭岳に源を発し、福島盆地を経て宮城県から太平洋に注ぐ。川の延長239kmは、東北地方で2番目の長さを誇る。

<第8日>

○南相馬特別

南相馬（みなみそうま）は、福島県北東部の市。2006年に小高町・鹿島町・原町市が合併して誕生した。毎年5月の最終土曜から月曜の3日間で執り行われる相馬野馬追は、400騎余の騎馬武者が旗指物をつけて疾走する勇壮な祭りで、平将門の軍事訓練が起源と伝えられている。

○猪苗代特別

猪苗代（いなわしろ）は、福島県中北部の町。同地の南部には、国内第4位の大きさを誇る猪苗代湖がある。水質が良好で、湖面が鏡のように美しいことから「天鏡湖」とも呼ばれる。

○福島テレビ賞

福島テレビは、福島県福島市に本社を置く放送局。1963年開局で、FNS（フジテレビ）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。